



2021 → 2030



"鳥栖スタイル"の深化

7th TOSU city master plan



第7次

鳥栖市総合計画

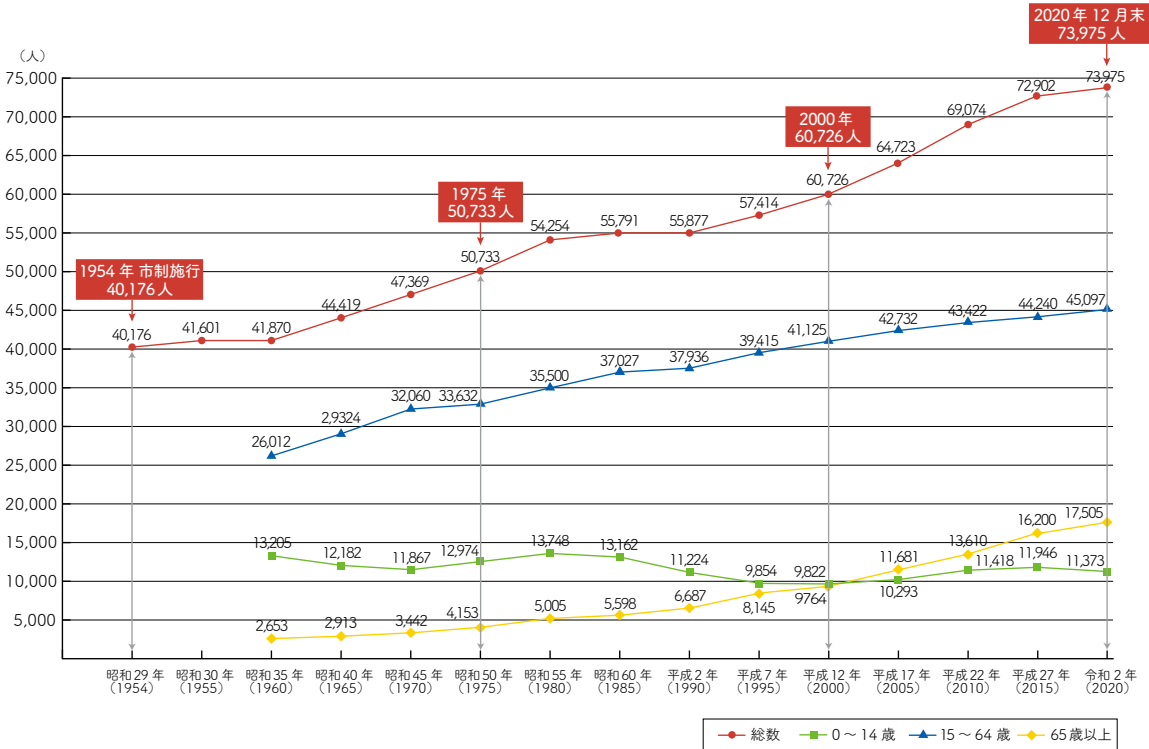
概要版

鳥栖市の今を見てみよう

人口

鳥栖市の人口は、市制施行当時（1954年）40,176人でしたが、2020年12月末現在では73,975人と、継続的に増加しています。

人口が増加する一方で、年齢区分別の人口構成を見ると、近年、14歳以下の人口の割合は横ばい傾向にあり、高齢化率は一貫して少しずつ上昇を続けています。



鳥栖市を取り巻く社会の動き

社会の動きの変化は、鳥栖市での日常生活にも影響を与えています。

1. 人口減少・少子高齢化の進行
2. 経済情勢の変化
3. 安全・安心への意識の高まり
4. 地域コミュニティの機能の低下
5. 公共施設やインフラの老朽化と公共交通のニーズ
6. 目まぐるしい技術革新の進展
7. 価値観・ライフスタイル等の多様化
8. 持続可能な社会づくりに向けた取組への機運の高まり



人口が増えている市町村は全国でも多くないんだ。そんな鳥栖市でも高齢化はじわじわと進んでいるんだよ。

日本の人口は減り始めているのに、鳥栖市の人口は増えているんだね。



鳥栖市はどんな課題を抱えているんだろう？

① 鳥栖を支える“人”

- ・今後も安定的な人口や人口構造を維持していくため、安心して子どもを産み育てられる環境の充実や、鳥栖育ちの子どもたちが地元ふるさとを実感することで、市内への定着につなげていくことが重要です。



② 鳥栖を支える“都市基盤”

- ・九州陸路交通のクロスポイントである鳥栖市は、積極的に企業誘致を行っており、今後も継続して企業誘致を行うために、産業用地の確保、人材確保の工夫や人材の定着が必要です。
- ・鳥栖駅の利便性向上及び新鳥栖駅周辺の土地利用が課題としてあり、実現可能な取組の検討が必要です。
- ・インフラの老朽化が顕在化していることから、長寿命化を踏まえた戦略的な維持管理・更新が必要です。
- ・近年頻発する自然災害に対して、被害を最小限に抑えるための対策が必要です。
- ・高齢化の進行等の社会情勢の変化に伴い、公共交通体系の在り方についての検討が必要です。
- ・デジタル技術の活用による、住民サービスの向上、教育環境の充実、行政事務の効率化等の取組が必要です。



③ 鳥栖を支える“地域”

- ・地域のまちづくりに関わる人材の高齢化が進んでいることから、若い世代がまちづくりに関わるような工夫やきっかけづくりが必要です。
- ・頻発する自然災害時に備え、地域住民同士が日常生活からつながり合う地域コミュニティ機能の向上が必要です。
- ・鳥栖市では留学や技能実習といった在留資格を持つ外国人が増加しており、国籍等を問わず人と人とが互いに認め合い、尊敬し合う多文化共生の浸透が重要です。



九州の南北と東西を結ぶ高速道路が、鳥栖市で十字に交わっていて、九州の交通でとても重要な場所だということなんだよ。

九州陸路交通のクロスポイントってどういうこと？

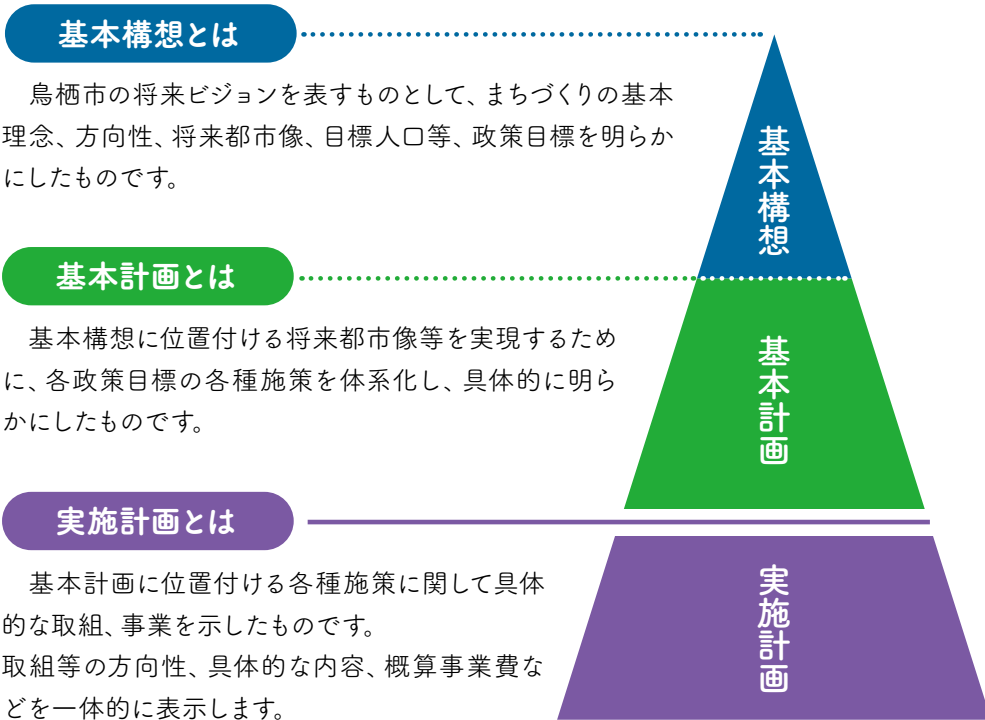


1. 趣旨・位置付け

鳥栖市として、市を取り巻く環境の変化等を踏まえながら、多様化するニーズに応え、持続可能な発展を遂げるべく、総合的かつ計画的にまちづくりを進める必要があります。現計画である第6次鳥栖市総合計画を振り返り、その課題等を踏まえて、第7次鳥栖市総合計画を策定します。

2. 計画の構成・期間

本計画は「基本構想」「基本計画」「実施計画」をもって構成します。



令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)	令和10年度 (2028)	令和11年度 (2029)	令和12年度 (2030)
基本構想 10年									
前期基本計画 5年					後期基本計画 5年				
実施計画 3年			実施計画 3年			実施計画 3年			実施計画 3年



そう、ピラミッドのてっぺんにある基本構想には、総合計画の一番基本になる考え方が書いているんだよ。

計画の構成って、ピラミッドみたいな形なんだね。



計画の基本的な考え方

まちづくりの主役はあなた（わたし）です

鳥栖市がまちの魅力を高め、より良いまちを引き継いでいくためには、鳥栖で暮らし、働き、活動し、学ぶ全ての人と同じ考えを共有し、それぞれの役目を果たしながらチャレンジしていくことが重要です。

将来都市像

住みたいまち、活躍できるまち、選ばれるまち 鳥栖
— "鳥栖スタイル"の深化—

鳥栖市では、これまで「鳥栖にしかできない・鳥栖だからできる・鳥栖らしい」取組を一つひとつみんなで考え、取り組んできました。今後もアクションを起こすことでまちの魅力を高めていく—それが"鳥栖スタイル"のまちづくりです。この"鳥栖スタイル"を浸透させることにより、まちの魅力を高めながら、『住みたいまち、活躍できるまち、選ばれるまち 鳥栖』の実現を目指します。

3つの"鳥栖スタイル"

① 住み良さを実感し、誇りにできるまち

また、鳥栖のまちや市民に魅力を感じて、「鳥栖に住んでみたい」、「鳥栖に住み続けたい」と思えるようなまちづくりを進めます。

② 市民がつながり、活躍できるまち

「鳥栖をこんなまちにしたい。そのためにはこんなことができる。」—市民がこうした気持ちになれるよう、行政がともに考え、後押しし、人と人がつながり、市民が活躍できるまちづくりを進めます。

③ 九州を繋ぎ、リードするまち

鳥栖は、九州陸路交通のクロスポイントという地理的優位性を背景に、優れた技術・産業が集積するまちです。今後もこれらの魅力を磨き、有効に活かす取組を展開することで、九州における存在感を発揮し、九州を繋ぎ、リードするまちづくりを進めます。



10年前の第6次鳥栖市総合計画にも鳥栖スタイルは掲げられていたんだ。鳥栖スタイルを大事にしていくことは変わらず、より浸透させていこうという想いが込められているんだね。

鳥栖スタイルの「深化」ってどういうこと？



基本計画の体系

<p>将来都市像 「住みたいまち、活躍できるまち、選ばれるまち鳥栖―鳥栖スタイル―の深化―」</p> <p>3つの「鳥栖スタイル」</p> <p>① 住み良さを実感し、誇りにできるまち ② 市民がつながり、活躍できるまち ③ 九州を繋ぎ、リードするまち</p>		基本目標	施策
		1.	<p>自然との共生を図り、未来へつなぐまち</p> 
2.	<p>快適な生活を支えるまち</p> 	<p>1. 都市と自然が調和した計画的な土地利用の推進</p> <p>2. 魅力ある賑わい拠点の形成</p> <p>3. 社会基盤施設の整備と安定的な維持管理</p> <p>4. 快適に通行できる幹線道路の整備</p> <p>5. 分かりやすく、利用しやすい、地域に愛される公共交通の実現</p>	
3.	<p>安全で安心して暮らせるまち</p> 	<p>1. 市民の大切な生命と財産の保全</p> <p>2. 暮らしの安全と安心の確保</p> <p>3. 快適な住環境の提供</p>	
4.	<p>誰もがいきいきと暮らせるまち</p> 	<p>1. 心身ともに健やかであるための健康づくり</p> <p>2. 安心して医療が受けられる体制づくり</p> <p>3. 認め合い、支え合う高齢者・障害者福祉の推進</p> <p>4. つながり、支え合う地域福祉の推進</p> <p>5. 安心と自立を支える社会保障の推進</p> <p>6. 自己実現の喜びにつながる生涯学習の推進</p> <p>7. 人権が尊重される社会の実現</p> <p>8. 男女共同参画社会の実現</p> <p>9. 多文化共生社会の実現</p>	
5.	<p>子どもが心豊かに育つまち</p> 	<p>1. 子どもを安心して産み、育てられる環境づくり</p> <p>2. 未来を創る子どもを育む教育の推進</p> <p>3. 安全で安心して学べる教育環境づくり</p> <p>4. 青少年の心豊かな育みの推進</p>	
6.	<p>活力と賑わいにあふれるまち</p> 	<p>1. 農林業の振興</p> <p>2. 商工業の振興</p> <p>3. 観光の振興</p> <p>4. スポーツの振興</p> <p>5. 文化芸術の振興</p>	
<p>基本目標を推進するに当たっての考え方</p> 			
<p>○協働のまちづくり ○効果的・効率的な行政運営の推進 ○持続可能な財政運営の推進</p>			



市民生活に関係している鳥栖市の取組を分類してみると、こんなにたくさんあるんだけど、どれも大事なことなんだよ。

「施策」ってたくさんあるんだね。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2015年9月の国連サミットにおいて、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標が採択され、その中で、「誰一人取り残さない」という理念のもと、17のゴール（目標）と169のターゲットが掲げられました。この目標がSDGsであり、各国や地域、企業や個人など、あらゆる人々が協力して取り組むことが重視されています。

鳥栖市としても、基本目標ごとに位置付ける各種施策の推進において、SDGsの理念を意識しながら取り組むために、各種施策とSDGsとの関連付けを行いました。



【貧困】

あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる



【保健】

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



【ジェンダー】

ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女兒のエンパワーメントを行う



【エネルギー】

すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する



【インフラ、産業化、イノベーション】

強靭（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る



【持続可能な都市】

包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する



【気候変動】

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



【陸上資源】

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



【実施手段】

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる



【飢餓】

飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する



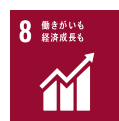
【教育】

すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する



【水・衛生】

すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



【経済成長と雇用】

包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する



【不平等】

国内及び各国家間の不平等を是正する



【持続可能な消費と生産】

持続可能な消費生産形態を確保する



【海洋資源】

持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



【平和】

持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する



まとめると、地球上の課題を、地球のみんなが協力して解決して、よりよい世界を目指すための目標のことだね。

えすでいーじーず...てなあに？



基本目標 ① … 自然との共生を図り、未来へつなぐまち

環境を守り、育て、緑豊かな環境づくりを推進することで、自然との共生を図るとともに、郷土の歴史を未来へつなぐ、魅力ある歴史的資源を大切に受け継ぐまちを目指します。

施策 ① 自然環境保全と循環型社会の推進

豊かな水と緑あふれる自然環境、快適で住みよい生活環境、地球環境を守り、育て、子どもたちへ引き継ぎます。また、3R（減らす、繰り返し使う、再資源化する）を実践し、限られた資源を有効利用することで、循環型社会の構築を目指します。



主な取組

自然・環境保全活動の推進

地球温暖化対策の推進

ごみ減量とリサイクルの推進

	成果指標	現状（令和元年度）	目標（令和7年度）
指 標（抜粋）	市民1人当たりのCO ₂ 排出量	11.3t/年	9.7t/年

施策 ② 集い、交流する緑の空間の創出

だれもが楽しく集い、交流できる公園などの適切な整備・管理を推進します。



主な取組

公園などの整備と適正管理

緑豊かな環境づくりの推進

	活動指標	現状（令和元年度）	目標（令和7年度）
指 標	公園施設の更新等を行う箇所数 （施設数）（累計）	5箇所	114箇所

施策 ③ 魅力ある歴史的資源の保存・活用・継承

市民一人ひとりが地域の歴史や文化に誇りと愛着を持ち、伝統を守り、活かし、伝えられるよう、歴史的資源の適切な保存・活用を推進します。



主な取組

歴史的資源の保護と積極的な活用

	活動指標	現状（令和元年度）	目標（令和7年度）
指 標（抜粋）	展示会・見学会・講座等の件数 及び参加者数	17件/年 5,268人/年	25件/年 7,000人/年

基本目標 ② … 快適な生活を支えるまち

都市と自然が調和した計画的な土地利用、魅力ある賑わい拠点の形成、生活道路や下水道などの社会基盤施設の継続した整備、地域公共交通網の確保・維持などを推進することで、市民の快適な生活を支えるまちを目指します。

施策 ① 都市と自然が調和した計画的な土地利用の推進

都市機能と自然環境が調和した持続可能な都市形成を図ります。

主な取組	計画的かつ健全な土地利用の推進		
	成果指標	現状（令和元年度）	目標（令和7年度）
指標（抜粋）	市街化区域の人口密度	3,606人/k㎡	3,693人/k㎡



施策 ② 魅力ある賑わい拠点の形成

鳥栖駅と新鳥栖駅を軸とした賑わいと活力にあふれた拠点形成を推進します。

主な取組	鳥栖駅・新鳥栖駅を軸とした賑わい拠点の形成		
	中心市街地の活性化		
	成果指標	現状（令和元年度）	目標（令和7年度）
指標（抜粋）	鳥栖駅利用者数	14,264人/日	14,600人/日



施策 ③ 社会基盤施設の整備と安定的な維持管理

市民の快適な生活を支える生活道路や上下水道施設などの社会基盤施設を整備し、安定的に維持・管理します。

主な取組	生活道路・道路施設の整備		
	安定供給と高品質化のための水道施設の整備		
	適正処理のための下水道施設の整備		
	成果指標	現状（令和元年度）	目標（令和7年度）
指標（抜粋）	水質管理指標の達成率	95.4%	100%



施策④ 快適に通行できる幹線道路の整備

交通渋滞が緩和され、車両が快適に通行できる幹線道路の整備を促進します。



主な取組

機能を重視した道路整備の推進

国道・県道の整備促進

成果指標

現状（令和元年度）

目標（令和7年度）

指 標

都市計画道路の整備率

73.2%

75.8%

施策⑤ 分かりやすく、利用しやすい、地域に愛される公共交通の実現

市民が分かりやすく、利用しやすい持続可能な公共交通を目指します。



主な取組

地域公共交通網の再構築

交通弱者の移動手段の確保

成果指標

現状（令和元年度）

目標（令和7年度）

指 標（抜粋）

路線バス市内線及び
ミニバス利用者数

137,054人/年

147,800人/年

基本目標 ③ … 安全で安心して暮らせるまち

近年頻発する豪雨などによる大規模自然災害の被害等を最小限に抑えるとともに、市民生活に身近な防犯や交通安全対策などを推進することで、安全で安心して暮らせるまちを目指します。

施策 ① 市民の大切な生命と財産の保全

市民の生命と財産を守るため、防災・減災対策などあらゆるリスクに対応できる体制づくりを推進します。



主な取組	防災・減災対策の推進	防火対策の推進	
	成果指標	現状(令和元年度)	目標(令和7年度)
指 標(抜粋)	自主防災組織の組織率	73.3%	86.7%

施策 ② 暮らしの安全と安心の確保

市民の暮らしの安全と安心を確保するため、防犯対策、交通安全対策、消費者被害対策を推進します。



主な取組	防犯対策の推進	交通安全対策の推進	
	消費者被害対策の推進		
	成果指標	現状(令和元年度)	目標(令和7年度)
指 標(抜粋)	交通事故発生件数	447件/年	379件/年

施策 ③ 快適な住環境の提供

市民が安全で安心して快適に暮らせる住環境を確保・提供します。



主な取組	良質な住宅の供給と多様な居住ニーズへの対応	空き家等対策の推進	
	活動指標	現状(令和元年度)	目標(令和7年度)
指 標(抜粋)	市営住宅浴室給湯設備設置戸数(累計)	67戸	349戸

基本目標 ④ … 誰もがいきいきと暮らせるまち

市民が生涯にわたって健康に暮らし、高齢者や障害者が安心して主体的な生活が送れるような、また、一人ひとりの自由な考え方や個性が尊重され、人の多様性を認め合えるような、誰もがいきいきと暮らせるまちを目指します。



施策 ① 心身ともに健やかであるための健康づくり

市民が健康への意識を高め、心身ともに健やかで心豊かに生活できるよう、健康づくりを推進します。

主な取組	健康づくりの推進・啓発	生活習慣病の発症や重症化予防対策の推進	
	成果指標	現状（令和元年度）	目標（令和7年度）
指標（抜粋）	健康寿命（平均自立期間）	男性80.5歳 女性84.5歳	男性81歳 女性85歳

施策 ② 安心して医療が受けられる体制づくり

いつでも良質で適切な医療サービスが受けられる体制づくりを推進します。



主な取組	救急医療体制の確保と地域医療体制の構築		
	活動指標	現状（令和元年度）	目標（令和7年度）
指標	休日救急医療センター 小児科医配置率	85.3%	100%

施策 ③ 認め合い、支え合う高齢者・障害者福祉の推進

高齢者や障害者が、自分らしく健康で社会参加ができ、生きがいをもって暮らせる環境づくりを推進します。



主な取組	高齢者の地域参加と健康づくりの推進	障害者の自立支援の推進	
	高齢者の住み慣れた地域での生活継続と自立支援の推進		
	障害者の生活支援の推進と社会参加の促進		
	成果指標	現状（令和元年度）	目標（令和7年度）
指標（抜粋）	要支援・要介護認定者の割合	17.02%	18.10%以内

施策④ つながり、支え合う地域福祉の推進

住み慣れた地域で、市民や支援を行う関係機関などが連携し、必要な支援が包括的に提供される体制づくりを推進します。



主な取組

地域共生と地域福祉活動の推進

成果指標

現状（令和元年度）

目標（令和7年度）

指標（抜粋）

福祉ボランティア登録者数

2,196人/年

2,500人/年

施策⑤ 安心と自立を支える社会保障の推進

みんなで支え合う相互扶助の考え方を基本に、市民一人ひとりが健康で安心して主体的な生活を送ることができるよう、適正な社会保障制度を推進します。



主な取組

国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険の適正実施

医療費の適正化の推進

生活保護の適正実施と自立支援の推進

活動指標

現状（令和元年度）

目標（令和7年度）

指標（抜粋）

特定健康診査受診率

44.3%

60.0%

施策⑥ 自己実現の喜びにつながる生涯学習の推進

生涯にわたって主体的に学習することで、自己実現の喜びにつなげ、いきいきと心豊かに暮らせる環境づくりを推進します。



主な取組

学習機会創出の推進

社会教育活動の支援

活動指標

現状（令和元年度）

目標（令和7年度）

指標（抜粋）

生涯学習講座参加者数

12,036人/年

17,000人/年

人権啓発講演会

施策⑦ 人権が尊重される社会の実現

一人ひとりが互いの人権を認め合い、尊重し合える環境づくりを推進します。



主な取組

人権に関する教育・啓発の推進

活動指標

現状（令和元年度）

目標（令和7年度）

指 標

人権問題に関する
学習会や研修会の参加者数

3,060人/年

3,200人/年

施策⑧ 男女共同参画社会の実現

性別にかかわらず、お互いが個性や考え方を理解し、認め合い、自分らしく生きることのできる環境づくりを推進します。



主な取組

男女共同参画の推進

女性活躍の推進

DV等暴力根絶の推進

活動指標

現状（令和元年度）

目標（令和7年度）

指 標（抜粋）

男女共同参画に関する
講座等の参加者数

2,747人/年

3,000人/年

施策⑨ 多文化共生社会の実現

日本人や外国人の区別なく、お互いの文化的な背景や習慣の違いを理解しながら、尊重し合い、暮らしやすい環境づくりを推進します。



主な取組

多文化共生のまちづくりの推進

国際性を育む地域づくりの推進

活動指標

現状（令和元年度）

目標（令和7年度）

指 標（抜粋）

多文化共生に関する
催しの参加者数

1,177人/年

1,300人/年

基本目標 ⑤ … 子どもが心豊かに育つまち

妊娠、出産から子育てまで、切れ目のない支援を行い、安心して産み育てられる環境をつくとともに、未来を創る子どもたちを育む教育と安全で安心して学べる環境をつくることで、子どもが心豊かに成長できるまちを目指します。

施策 ① 子どもを安心して産み、育てられる環境づくり

子どもや子育てを地域全体で支え合い、安心して産み育てられる環境づくりを推進します。



主な取組

子育て家庭の多様なニーズに応える環境づくりの推進

子どもと親の心身の健康の確保

留守家庭児童の居場所づくりの推進

成果指標

現状(令和元年度)

目標(令和7年度)

指標(抜粋)

人口千人当たりの出生率

9.6‰

10.0‰

施策 ② 未来を創る子どもを育む教育の推進

未来を創る子どもたちが、ふるさとへの愛着と誇りを育み、社会の形成者として成長できるような教育を推進します。



主な取組

特色ある学校づくりの推進

豊かな心・健全な体を育む教育の推進

活動指標

現状(令和元年度)

目標(令和7年度)

指標(抜粋)

コミュニティ・スクールの
取組中学校区数(累計)

1校区

4校区

施策 ③ 安全で安心して学べる教育環境づくり

子どもたちが、明るく豊かな心で、楽しく学校に通えるよう、安全で安心して学べる教育環境づくりを推進します。



主な取組

安全・安心な教育環境づくりの推進

活動指標

現状(令和元年度)

目標(令和7年度)

指標(抜粋)

建築後又は大規模改造事業実施後
30年以上経過した小中学校数

3校

1校

施策 ④ 青少年の心豊かな育みの推進

地域とともに、様々な体験を通じて青少年の健全育成を推進します。



主な取組

青少年の健全育成の推進

活動指標

現状(令和元年度)

目標(令和7年度)

指標

放課後子ども教室の参加子ども数

7,372人/年

9,500人/年

基本目標 ⑥ … 活力と賑わいにあふれるまち

鳥栖市が将来にわたって発展し続けるために、農林業、商工業の振興を図り、活力にあふれるまちを目指します。また、観光、スポーツ、文化芸術の振興を図り、多くの市民や地域が賑わいにあふれるまちを目指します。

施策 ① 農林業の振興

担い手育成や生産環境の保全、収益力の向上により、持続可能な農林業の振興を推進します。



主な取組	農地の流動化と担い手育成支援の推進	森林活用の推進	
	高収益作物の作付面積の拡大	都市と農村との交流の推進	
成果指標	現状(令和元年度)	目標(令和7年度)	
指 標(抜粋)	認定農業者数(累計)	65経営体	80経営体

施策 ② 商工業の振興

市内で活動する商工業者が、健全かつ活発に企業活動を行えるよう、地域産業の活性化を推進します。



主な取組	企業誘致の推進	多様な就業機会の確保	
	創業と経営基盤強化への支援の充実	中心商店街の活性化	
成果指標	現状(令和元年度)	目標(令和7年度)	
指 標(抜粋)	進出協定件数(累計)	202社	208社

施策 ③ 観光の振興

地域資源を生かした観光スタイルの確立と効果的な情報発信を推進することで、交流人口の拡大につなげます。



主な取組	観光スタイルの確立と観光基盤の整備		
	観光情報発信の推進		
成果指標	現状(令和元年度)	目標(令和7年度)	
指 標	観光施設・イベント等の集客数*	6,997,102人/年 (939,605人/年)	7,000,000人/年 (980,000人/年)

*括弧書きは民間の観光施設を除いた集客数

施策④ スポーツの振興

市民一人ひとりが身近なところでスポーツに親しめる環境づくりを推進します。



主な取組

スポーツの振興「する」、「見る」、「支える」の充実

	活動指標	現状(令和元年度)	目標(令和7年度)
指標	市有体育施設利用者数*	694,267人/年 (427,772人/年)	710,000人/年 (430,000人/年)

*括弧書きは鳥栖スタジアムにおける観客数を除いた利用者数

施策⑤ 文化芸術の振興

市民一人ひとりが身近なところで優れた文化芸術活動に親しめる環境づくりと文化芸術活動の支援を推進します。



主な取組

文化芸術活動の振興と担い手育成

	活動指標	現状(令和元年度)	目標(令和7年度)
指標(抜粋)	アウトリーチ実施回数	39回/年	50回/年

基本目標を推進するに当たっての考え方

① 協働のまちづくり

まちに関わる市民がそれぞれ考え、実践し、知恵を出し合い、共に汗をかき、それぞれの役割を果たしながらまちづくりを進めるために、幅広い市民ニーズを的確に把握するとともに、多様な主体が互いに協力しながらまちづくりに関わることのできる環境づくりを推進します。



具体的な考え方

行政情報の共有化と市民の声を聴く機会の充実

市民協働のまちづくりの推進

ユニバーサルデザインの推進

② 効果的・効率的な行政運営の推進



社会環境の変化に柔軟に対応し、効果的・効率的な行政運営を推進します。また、職員一人ひとりが高い倫理観を持ち、社会的責任を自覚した行動を実践し、質の高い行政サービスの提供を行っていきます。

具体的な考え方

行政改革の推進

広域連携の推進

デジタル技術を活用した行政サービス等の向上

③ 持続可能な財政運営の推進

将来にわたって持続可能な財政運営を推進します。

具体的な考え方

安定した財源の確保と財産の適正管理

適正な財政運営の推進

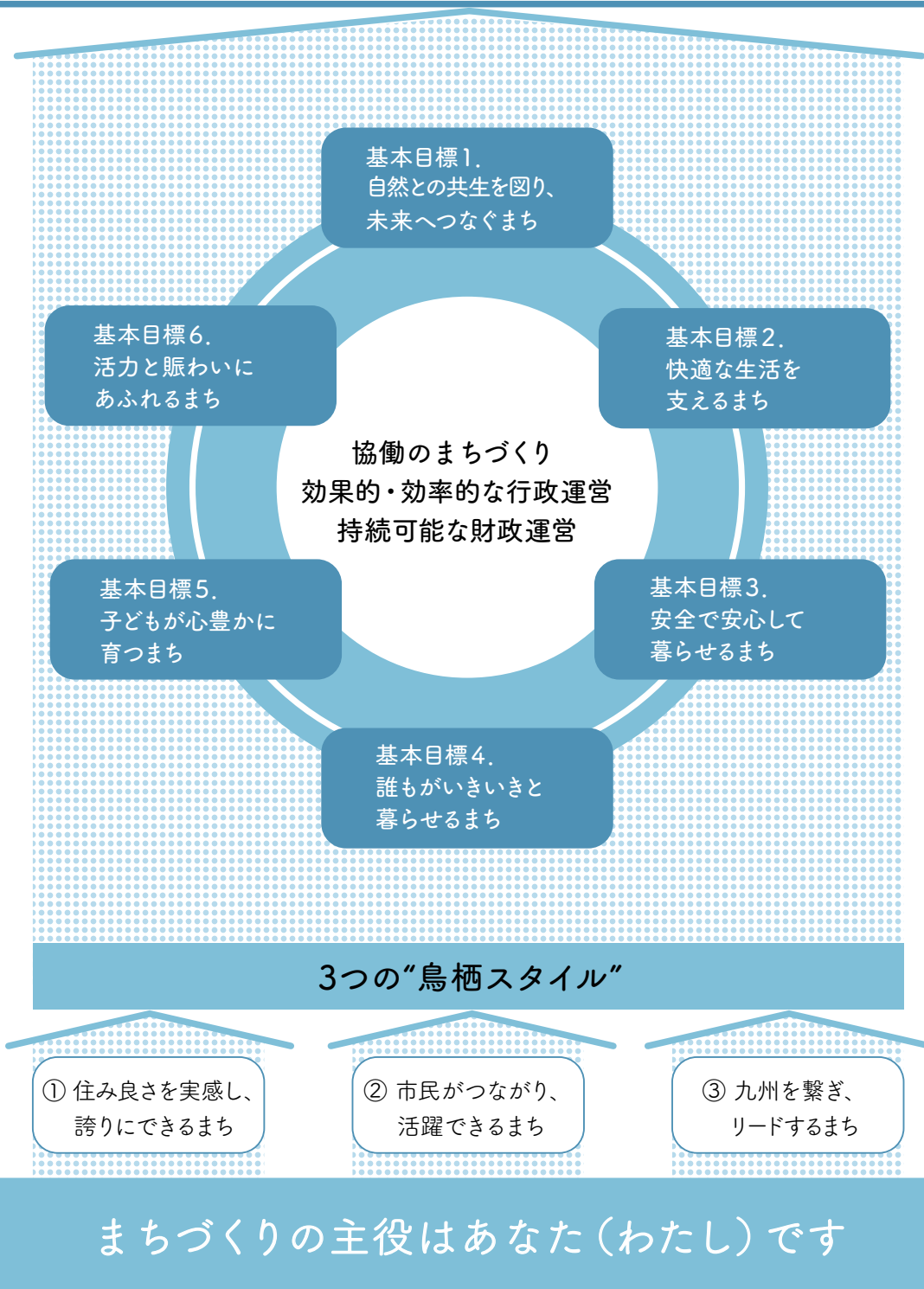
公共施設等総合管理計画の推進



第7次鳥栖市総合計画の体系イメージ

< 将来都市像 >

住みたいまち、活躍できるまち、選ばれるまち 鳥栖
— “鳥栖スタイル” の深化 —



まちづくりの主役は

あなた(わたし)です

総合計画を作り上げる過程では、8つのまちづくり推進センターでまちづくり座談会を開催しました。

鳥栖商業高校とコラボした、まちづくりハイスクールでは、若者ならではの視点から鳥栖市のまちづくりに関する様々なアイデアや意見をいただきました。

